



新緑の利根川沿いをさわやかに

第9回前橋シティマラソンが4月27日、グリーンドーム前橋周辺で行われました。エスビー食品陸上競技部長の中村孝生さんとヤマダ電機女子陸上競技部をゲストに招き、ハーフマラソン、12kmなどの5種目や都市緑化フェアに合わせて花ウォークも。ボランティアの協力と沿道からの声援を受け、5,699人のランナーが健脚を競いました。

朝食を取る大切さを伝えたいです



ちーちゃんと一緒に食育活動
笛木 京子さん・53歳
広瀬町一丁目

昨年度、地域に根ざした食育コンクールで特別賞を受賞。また、来月にグリーンドーム前橋で行われる「第3回食育推進全国大会」に出演する。食生活改善推進員として、また、腹話術師としての妙技を生かし、年40回以上も、幼稚園や小学校、地域の公民館などで食育の活動が続いている。

「腹話術は、20年前に娘にせがまれて、一緒に始めました。最初は、3時間かけて教室に通い、腹話術を覚えました。この人形の名前は、ちーちゃんです。まだ、小さかった娘のイメージから、その名前にしたんです」
ちーちゃんは夜更かし。朝食は食べない、野菜嫌いの5歳の女の子。公演をする会場では、ちーちゃんと

の絶妙な会話の掛け合いで笑いを誘う。ステージを飛び出し、子どもたちに質問をするなど、観客を巻き込む演出に、会場は和やかな雰囲気になります。

「大切なのは生活のリズム。快食、快眠、快便を身に付けることですね。今の子は夜更かしなので、朝食を取る時間がないのでしょう。授業中に居眠りをする子や集中できない子が3日に1回しか排便しない子が多くいるんです」

成長期の朝食は、体や脳への栄養補給に不可欠。だから、朝食を取ることの大切さを力説する。
「今後は、働き盛りのお父さんやお母さんを中心に、生活習慣病の予防などを発信していきたいと思っています」と、顔をほころばせた。

市民力を生かした地域づくり

4月27日、まえばし地域づくり推進大会を前橋プラザ元気21で開催しました。新たに4地区をモデル地区に指定。活動報告やパネルディスカッションも行われ、市民力・地域力を生かした地域づくりの活動が期待されます。



浄水場で満開のツツジ観賞

5月3日から5日まで、ツツジが見頃を迎えた敷島浄水場を一般開放しました。吹奏楽コンサートや水の試飲会も行われ、家族連れなど多くの人が来場。赤や白、ピンクの色とりどりの花に訪れた人は、楽しそうに見入っていました。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★佳作 自然の仲間

福岡県柳川市立六合小6年
砥上 英朗さん

人間は、他の動物に、知らないふりをしないで、こんなに優しくで
きるだろうか

自然はすごい
どんなに時代が過ぎても
一生懸命生きて僕達を心で見
つめてくれる
たとえば、六合小のシンボル、せ
んだんの木
夏に花火で燃えてしまった。
でも一生懸命生きて、今でも生き
ている

★佳作 トイレそうじ

桃井小3年
町田 はるかさん

私は、家でトイレそうじをしています。
タワシをもって、トイレの中を、
ゴシゴシこすります。
消どくした紙でトイレをふきます。
トイレの電気の光が、
きれいになったトイレにあたり、
キラキラ光ってきれいです。
母が
「トイレをきれいにする子は、か
わいい子を産めるよ。」
と言った言葉を、
ふと、思い出した。